



大山たか子通信

高ちゃんつうしん

* 2023. 10 No.56 *

市議会:087(839)2831 自宅:087(888)3272

eメール:takachan@mxi.netwave.or.jp HP:http://wwwi.netwave.or.jp/~takachan/



皆様の真心からのご支援によりまして、逆境を跳ね返し6期目のスタートを切ることができました！！心より感謝申し上げます。



皆様のご期待に応えるべく、しっかりと小さな声にも耳を傾け、そのお声をカタチにすべく、全力で働いてまいります。

また議会や党の中でも、責任が今まで以上に重くなりました。厳しい時代の中で、常に庶民感覚を基に、舵取りを過たず、この高松が障がいがあってもなくても安心して暮らせるまちとなるよう、党のネットワーク力も活かし取り組んで参ります。

今後ともご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



「たかまつ安心バンダナ」が高松市内の指定避難所全てに2枚ずつ配備されました！！



2021年9月議会で、災害時などで支援が必要なことを周囲に知らせるための障がい者を支えるバンダナの導入を訴え、2023年3月実現しました。

このバンダナは75センチ四方で、四隅に「耳がきこえません」「目がみえませんが」「手話ができません」の文字とマーク、そして必要な支援を書き込むことができる記入欄があり、内容が見えるように身に付けて使用します。また視覚障がい者が触覚で表示箇所を判別できるように、「目がみえませんが」の下には切り込みが入っています。今後は、このバンダナの意味を理解して頂けることが大切です。どうか皆様、覚えて下さいね。

2023年4月から高松市は、若年がん患者(20~39歳)を対象に、終末期の在宅療養に必要な訪問介護サービスや福祉用具貸与の費用と、医療用ウィッグ(かつら)や胸部補整具の購入費用を助成する事業を始めました。



市内で在宅専門の医療を提供している診療所の院長から、若年がん患者と接する中で、「入院すると子どもの顔を見られなくなってしまう」との声を聴き、AYA世代(思春期・若年成人世代)への支援の必要性を痛感され、「40歳以上は在宅療養に介護保険を適用できるが、AYA世代にはこうした公的な支援がない。何とかできないか」と約3年前に相談を受けました。

2021年9月議会以降、粘り強く訴えた結果、20~39歳の若年がん患者を対象に2事業の創設が実現。在宅療養を支援する事業は、食事や入浴などの訪問介護サービスと車いすや特殊寝台などの福祉用具貸与について、利用料の9割(上限月額5万4000円)を助成する内容です。また、補整具購入費用の助成事業は、医療用ウィッグとその装着に必要な頭皮保護用ネット、さらに補整下着など胸部補整具のそれぞれ1回限り、購入費用の3分の2(上限2万円)を助成します。

● 9月議会報告(一般質問) ●



質問

- ①家賃滞納が生じた場合、早期に福祉部局との連携を図る中で、個々の事情を十分に把握し、丁寧に対応する考えは？
- ②市営住宅に入居の際の連帯保証人規定を削除する考えは？
- ③一般的な市営住宅のバリアフリー化に対する考えは？

市営住宅について

答弁

②本市として、セーフティーネットとしての円滑な市営住宅の提供ができるように、まずは、連帯保証人の免除規定に、60歳以上の単身高齢者世帯を含めるように検討していく。併せて、全面的な連帯保証人の削除に向けた課題についても、詳細に整理していく。

質問

- ①市有施設に設置しているAEDについて、AEDリース契約更新時に併せて、計画的に地域性も考慮し可能な限り屋外設置を進める考えは？
- ②市有施設等のAED設置場所について、市民の認識向上に取り組む考えは？
- ③市有施設に設置されているAED収納ケースに、三角巾と女性等に配慮したAED使用方法等を記載した普及啓発資材を配備する考えは？

命を守るAEDについて

答弁

- ①これまで早急に設置が進まなかった要因の解消策について、更に検討を加え、地域住民に広く利用されている、総合センターやコミュニティセンターなど、より効果が期待できる施設を優先しながら、リース契約更新に併せ、可能なものから屋外設置に取り組む。
- ②本年3月末から「たかまつマイセーフティマップ」の機能拡充を図り、避難所、病院のほか、市有施設や「まちかど救急ステーション」に設置をされたAEDに関する情報について、現在地をタップすることにより、瞬時に地図上で閲覧できるようになったので、この「たかまつマイセーフティマップ」の機能等について、本市ホームページやSNSなどを通じて、周知啓発に努めるとともに、救命講習や地域での防災訓練などでの機会をとらえて、AEDの目的や設置場所等に関する情報を提供するなど、必要とする時に迅速に使用できるよう取り組む。
- ③使用者の心理的抵抗感の軽減につながるよう、市有施設のAED設置場所に、三角巾及び普及啓発資材を配備していく。



たかまつ
マイセーフティマップ
QRコード

質問

- ①学校図書館における、図書標準の達成状況と図書の更新、及び新聞配備の現状と課題、また今後の取り組みは？
- ②GIGAスクール構想と学校図書館との連携をどのように捉えて実践するのか？
- ③学校図書館が心の居場所としての役割が期待されるが、現状と今後の取り組みは？

学校図書館と子供の読書について

答弁

- ①中学校の新聞配備拡充に努め、多様性の視点から、様々な教育的支援が必要な子どもたちの選択肢が広がるよう、学校図書館に限らず、必要な場所に図書を配置したり、公立図書館のサービスを紹介するなど、適切な支援につなげる。
- ③図書資料や新聞等多様な資料の充実や、工夫した読書スペースの確保などとともに、安心できる居場所としての観点にも配慮した学校図書館の環境整備に努める。

①前田東町共同墓地の 舗装が完成です！！



2018年に前田東町墓地の前の道がたいへん傷んでいると十河党员さんから要望を受け、2022年12月にやっと舗装が完成しました。お墓参り等の方々に喜んで頂いています。

高ちゃん活動報告



②前田東町の道路舗装が やっと完成しました。



2018年に前田の川田党员さんから、傷んでいた道路舗装の要望を受け、完成したのは2022年6月でした。時間はかかりましたが、大変地域の方々に喜んで頂いています。

③川島東町の危険な三差路に カーブミラーが設置できました。



2022年10月に見通しが悪く危険な三差路に、Kさんからカーブミラーを設置して欲しいとの要望を頂き、党员さんのご協力でご同意書が完成し、2023年1月には設置できました。

④林町の見通しが悪いカーブに、 カーブミラーが設置できました。



2022年11月、林町の見通しが悪く、危険なカーブで、カーブミラー設置の要望を頂きました。そこで、田中党员がご近所の同意を取って頂き、無事、12月には設置できました。

子ども食堂のお手伝い

あっちこっち
高ちゃん



昨年の12月より、毎月1回六条町の乾北集会場で開催している「どんぐりキッチン」子ども食堂へ、できる限りのお手伝いを党员さんと始めました。大きなお鍋やボールでおかずや和え物を作ったりとボランティア仲間と楽しく調理をします。最近は専ら後半に掃除や机や備品のお片付けなどを中心に行っています。元気な子どもたちの笑い声でパワーを頂いています。



5月28日 4ヵ月振りの Nニューリバーの出動

選挙等で出来なかったのが、4ヵ月ぶりの草刈りやごみ拾いなどの河川敷の清掃を行いました。



8月7日 西讃ふくろうセンターを訪問

香川県聴覚障害者協会の近藤理事長にお会いし、手話についてもいろいろと教えて頂きました。手話は深～いです。



8月19日 公明党四国夏季議員研修 会を地元香川県で開催

高木政調会長をお迎えし、議員としての使命と責任を改めて確認し、勇躍前進しました。



8月14日 高松まつりに4年 ぶり市議連の一員として、 総踊りに参加

心地よい汗をかきつつ、踊れる状況になった喜びを噛みしめました。

9月10日 高松西ライオンズクラブ の献血お手伝い

イオン綾川にて、献血アクティビティに参加しました。コロナ禍で全ての血液が足りない状況が続いています。どうかご協力お願い致します。



8月26日 公明党 政策要望懇談会を開催

山崎正恭衆議員を中心に、企業団体から様々ご意見ご要望を頂きました。



皆様は、デフリンピックをご存じですか？

「デフ」とは耳の聞こえない人の意味で、4年に一度、世界的規模で行われる聴覚障害者の総合スポーツ大会です。日本で初めて2025年11月東京で開催されます。

その大会に高松市出身の片山結愛さんがバドミントンで日本代表として出場します。

皆さん、応援しましょうね。

編集後記

